

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>【教育局】</p> <p>1 県立養護学校教室 不足対策事業</p>	<p>3,228,729</p> <p>〔国庫 275,277 県債 2,233,000 一財 720,452〕</p>	<p>544,040</p> <p>〔県債 318,000 一財 226,040〕</p>	<p>544,040</p> <p>〔県債 318,000 一財 226,040〕</p>	<p>1 高等養護学校の設置 347万4千円</p> <p>・電波障害調査、敷地内測量(さいたま桜高等学園)</p> <p>2 高等部分校の設置 5億600万2千円</p> <p>高等学校内に軽度知的障害の生徒を対象とした養護学校高等部分校を設置(平成20年4月開校予定)</p> <p>・南部地域高校内分校工事費等(大宮武蔵野高校内) 普通科 48名程度(8名×2学級×3学年)</p> <p>・西部地域高校内分校工事費等(川越初雁高校内) 普通科 48名程度(8名×2学級×3学年)</p> <p>・東部地域高校内分校工事費等(草加西高校内) 普通科 48名程度(8名×2学級×3学年)</p> <p>新 3 知的障害養護学校の設置 3,456万4千円</p> <p>高校再編整備後の跡地を活用し小中高併設校を設置(平成21年4月開校予定)</p> <p>・南部地域知的障害養護学校設計費 普通科 40学級程度</p>
<p>【審査の考え方】</p> <p>知的障害養護学校を中心とする教室不足を解消し、児童生徒が安心して学べる教育環境を確保するため、高等部分校、小中高併設校設置の必要性を認め、要求額を措置した。</p>				

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>新 部</p> <p>2 障害児の潜在的な能力 開発推進事業</p>		<p>8,720</p> <p>(一財 8,720)</p>	<p>8,720</p> <p>(一財 8,720)</p>	<p>1 埴保己一夢チャレンジ体験事業 1 2 1 万 1 千円</p> <p>・プロによる講話会、体験学習会等</p> <p>2 未来を拓くICT活用能力ステップアップ事業 1 2 4 万 8 千円</p> <p>・盲学校情報教育向上事業 ・パソコン活用公開講座</p> <p>3 パソコン操作支援機器整備 4 1 0 万 5 千円</p> <p>・点字ディスプレイ等の購入</p> <p>4 障害児のためのサテライト事業 1 3 1 万 6 千円</p> <p>・出張教育相談、自立活動支援の実施</p> <p>5 外部英語講師派遣事業 8 4 万円</p>
<p>【審査の考え方】</p> <p>視覚障害をはじめとする障害児の潜在的な能力を開発し、職業的自立を推進するために、社会で活躍する障害者を紹介する機会の確保、情報機器活用能力の強化、英語能力の強化等の必要性を認め、要求額を措置した。</p>				

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
3 学校教育に係る市町村総合助成事業	622,773 (一財 622,773)	561,321 (一財 561,321)	561,321 (一財 561,321)	<p>これまで県が実施してきたさわやか相談員や様々な補助事業等を市町村に移管するとともに、その主体的な取組の実現に向けて支援を行う。</p> <p>1 基礎・基本の徹底 4,086万6千円</p> <p>2 いじめ・不登校の防止《再掲》 4億6,495万5千円</p> <p>・県内全中学校に相談員(現さわやか相談員)を配置する。</p> <p>3 学校・家庭・地域が一体となった子どもの育成 3,750万円</p> <p>新 4 子どもたちの社会力の育成 300万円</p> <p>新 5 先駆的取組の促進 1,500万円</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【審査の考え方】</p> <p>学校教育に係る市町村の主体的な取組の支援に向けて、県単独事業を精査し、市町村に移管すべき事業は移管することの意義や有効性を認め、要求額を措置した。</p> </div>				

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
4 体験活動関連事業	96,041 〔国庫 3,562 使手 2,000 一財 90,479〕	105,622 〔国庫 32,454 使手 2,000 一財 71,168〕	105,622 〔国庫 32,454 使手 2,000 一財 71,168〕	1 高等学校の体験活動 5,534万2千円 (1) 高校生体験活動総合推進事業 3,266万3千円 ・インターンシップ ・保育、介護体験 ・小中学校や養護施設での交流体験 ・研究機関等での実験や実習体験 ・社会体験、体験型研修 ・体験活動推進フォーラム開催 (2) 自分発見！高校生感動体験プログラム事業 2,267万9千円 ・中途退学の多い学校の1年生を対象とした就 労体験の実施 ・非行問題行動を起こした生徒を対象とした清 掃活動や農作業体験の実施 ・人間関係づくりを目的とした体験学習等

【審査の考え方】

児童生徒の人間性や社会性を育み、また、不登校、中途退学を防止するために、勤労観、職業観、規範意識を育成するインターンシップ等の体験活動の意義や有効性を認め、要求額を措置した。

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
				<p>2 小中学校の体験活動 1,532万2千円</p> <ul style="list-style-type: none">・滑らかな接続を図る学校間交流事業《再掲》 516万6千円・中学校職場体験推進事業《再掲》 300万円・小中学校キャリア教育総合推進事業 715万6千円 <p>3 小中学校・高等学校 3,495万8千円</p> <p>(1) 民間連携体験活動プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none">- サマーラストキャンプ - 251万2千円・NPO等への委託により宿泊体験を実施 <p>(2) 彩の国 教育・ふれあい推進事業 2,619万円</p> <ul style="list-style-type: none">・長期宿泊体験、仲間と学ぶ宿泊体験教室等 <p>(3) 瞳輝く子どもふれあい・体験活動事業 625万6千円</p>

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
5 いじめ対策関連事業	872,205 (国庫 152,429 諸収 55,039 一財 664,737)	837,940 (国庫 158,389 諸収 398 一財 679,153)	837,940 (国庫 158,389 諸収 398 一財 679,153)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【審査の考え方】 いじめ・不登校の防止に向けて、いじめ電話相談の24時間化、さわやか相談員の全中学校配置等により教育相談体制を充実することの有効性を認め、要求額を措置した。</p> </div> <p>新</p> <p>1 いじめ緊急対策事業 5,142万5千円</p> <p>(1) いじめ電話相談24時間化 4,481万2千円</p> <p>(2) いじめ対策委員会の設置 221万3千円</p> <p>(3) いのち輝き先生 160万円</p> <p>(4) いじめストップカード等の作成 280万円</p> <p>2 いじめ・不登校対策相談事業 3億2,156万円</p> <p>(1) スクールカウンセラーの配置 3億1,524万3千円</p> <p>(2) スチューデントサポーター配置事業 54万7千円</p> <p>(3) 精神科医師の配置 302万9千円</p> <p>(4) 相談員研修事業 274万1千円</p>

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
				<p>3 相談員の配置《再掲》 4億6,495万5千円</p> <p>学校の教育相談体制をさらに効果的なものにするため、中学校全校に相談員（現さわやか相談員）を配置することとし、これに必要な費用の一部を県費で助成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・さわやか相談員制度の市町村移管・相談員制度経費を県が助成 <p>負担割合（県2/3）市町村1/3</p>

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要			
6 教育委員会定数		人	人	<div style="text-align: right;">定 数 (人)</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 区 分 増 減 員 1 8 年 度 1 9 年 度 </div>			
		事務局 11	事務局 11	事務局	11	817	806
		充指導 2	充指導 2	充指導	2	196	194
		小学校 84	小学校 84	小学校	84	20,525	20,441
		中学校 97	中学校 97	中学校	97	11,720	11,817
		高 校 147	高 校 147	高 校	147	9,822	9,675
		特 殊 85	特 殊 85	特 殊	85	3,134	3,219
		合 計 62	合 計 62	合 計	62	46,214	46,152

【審査の考え方】
 計画的に削減される定数に加え、新たな定数の削減もなされていることから、事業に必要な定数確保を認め、要求された定数を措置した。

教育局